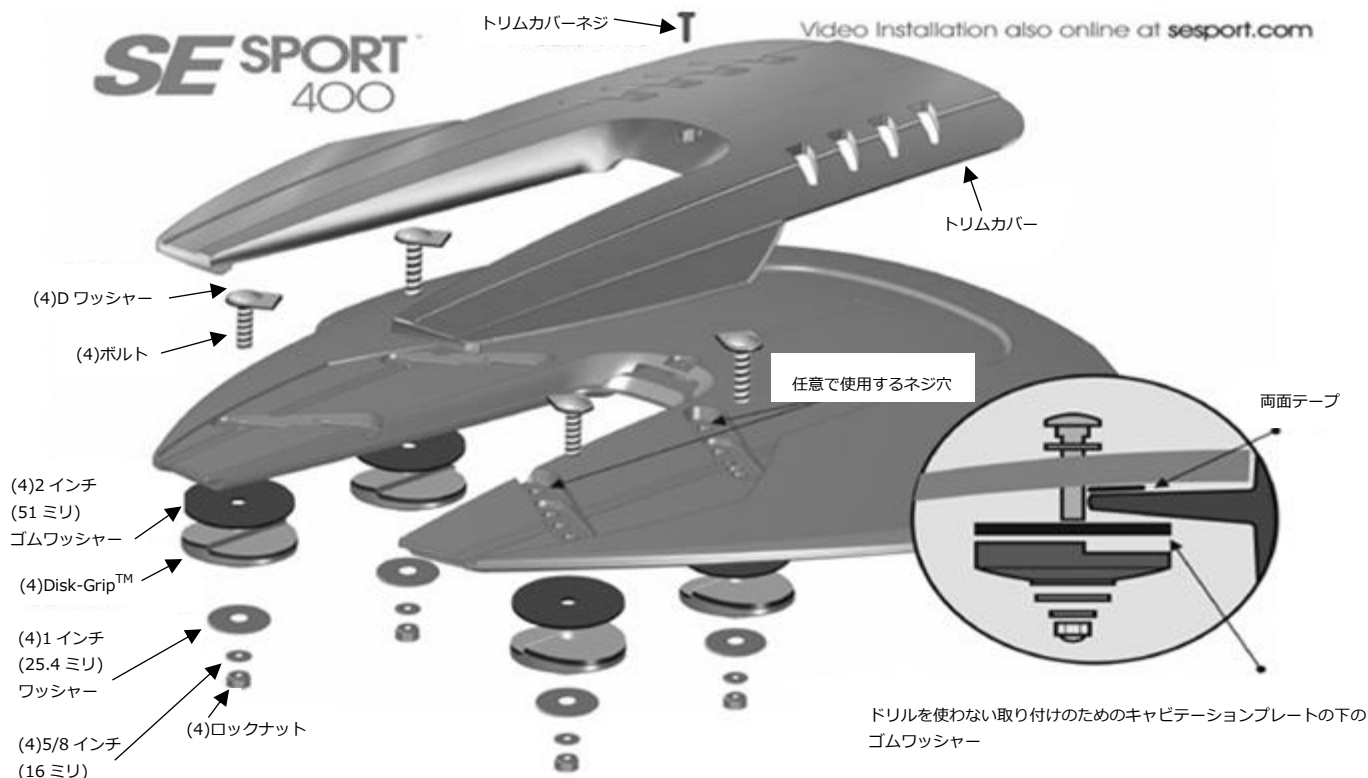




(注意) SE Sport 400™ は、キャビテーションプレートを通して排気を行うボルボには推奨できません。SE Sport 300™ をお勧めします。



取り付けの調節：

8 インチ幅 (203 ミリ) キャビテーションプレートは、Drill-Free™ 取り付けのために SE Sport 400™ の改造が必要です。説明書と写真については、sport Marine Tech または www.sesport.com にお問い合わせください。

マーキュリー 4 ストローク 40 馬力 50 馬力および 60 馬力

馬力はプレート幅が 6.5 インチ (165 ミリ) のリアディスクマウントがあります。Sport 400™ をこれらのモーターに適合させるために、1/4 インチ (6.4 ミリ) のドリルビットで穴を開けるためのガイドとなるパイロットホールが用意されています。前方の Disk-Grip™ マウントには標準の 6 インチ (152 ミリ) 穴位置を使用してください。* **ホンダ 200HP とヤマハ 350HP** には、より大きな 7.25 インチ (184 ミリ) 幅のプレートがあります。これらのキャビテーションプレートに取り付けるには、小さな丸いやすりか 1/4 インチ (6.4 ミリ) のドリルで外側のホールドを外側に少し広げる必要があるかもしれません。

* **Evinrude 200 馬力 - 300 馬力** の各モデルは 6.5 インチ (165 ミリ) のパイロットホールを開け、最も適合するように前方の外側ホールを拡張する必要があるかもしれません。取り付けの前に、最も近い穴のパターンを測定してください。

従来のドリル組み立て：キャビテーションプレートに穴を開ける場合は、Sport 400™ を希望の位置にセットし、センターパンチで内側に 4 つの穴をマーキングしてください。1/4 インチ (6.4 ミリ) ドリルビットを使って、4 つの内側に穴を開けてください。Disk-Grip™ とゴムワッシャーは使用せず、同じ工具を使用して取り付けてください。(もしくは任意で 2 つの穴を開けて 2 つの Disk-Grip™ を使用する事も出来ます。)



Video Online

SPORT MARINE TECHNOLOGIES.



© 2014 SPORT MARINE TECHNOLOGIES, INC.

Video online at sesport.com

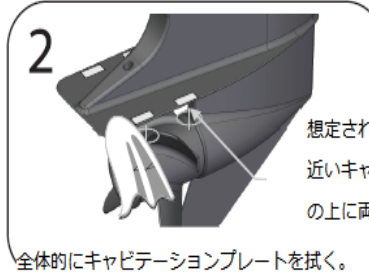
取り付け手順（穴開け加工不要）：

SE Sport 400™ には、必要なハードウェアがすべて付属しています。(Disk-Grip™4 本、ゴムワッシャー、ボルト、ワッシャー、両面テープ、ロックナット)。*ほとんどの場合、7/16 インチのオープンエンドまたはソケットレンチとプラスドライバーがあれば、取り付けが可能です。

①上部トリムカバーを前方に軽くスライドさせ、取り外します。

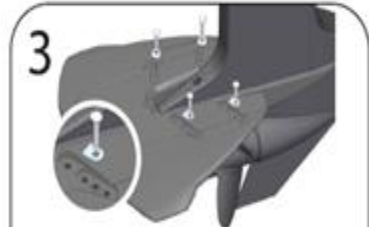


②キャビテーションプレートの上部和下部の油分残りをすべて取り除きます。表面を完全に洗浄するために、消毒用アルコールを使用する必要がある場合があります。キャビテーションプレートの上面、外周部付近、およびディスクの組み立て予定位置付近に両面テープを貼ります。(粘着剤の裏地側を剥がす。)



③ディスク組み立て：SE Sport 400™ をキャビテーションプレートにセットし、キャビテーションプレートのサイズに最も近い穴のパターンを選択します。フォイルトップチャンネルの D 型ワッシャーを選択した穴の上に置き、この 4 つの位置に角根ボルトの長い方を後方に、短い方は前方に挿入します。(対応するキャビテーションプレートの幅が 5"(127mm), 6"(152mm), 6.5"(165mm), 7"(178mm)用の穴のパターンがあり、各 1/4 インチ(16.4 ミリ)の取り付け穴があります。

2 インチ(51 ミリ)のゴムワッシャーを Disk-Grip™ の上に、キャビテーションプレートの下に置き、1 インチ(25.4 ミリ)のスチールワッシャーを Disk-Grip™ の底に置き、次に 5/8 インチ(16 ミリ)のワッシャーとロックナットを置きます。Disk-Grip™ の段差がキャビテーションプレートの外周と一致していることを確認します。



本製品の中心を合わせ、キャビテーションプレートに
最も近い穴にボルトと D ワッシャーを挿入する。

④⑤ロックナットは、ネジ山の破損を防ぐため、小さなソケットレンチでゆっくりと締め付けます。Disk-Grip™ のゴムワッシャーがかなり圧縮されるまで、交互のトルクパターンを使用します。ナットが硬くなるのを感じ、さらに半回転から全回転を加えると取り付けが完了します。そのまま締め続けるとボルトが破損する可能性があります。(一度締めたロックナットは緩めないようにしてください。パワーソケットは使用しないでください。)



補足：ゴムがキャビテーションプレートの
底を押し付けます。

⑥ トリムカバーを取り付ける：トリムカバーを本体の 1/2 インチ(12.7 ミリ)前方に置き、中央を強く押しながら後方にスライドさせ、中間インターロックをかみ合わせます。中央のネジ穴に合わせたら、プラスドライバーを使ってネジがぴったり合うまで手回しで締めます。(ネジをしめすぎないでください。)

締め付けの最終確認：SE Sport 400™ を左右にしっかりと引っ張ります。動きがなく、非常にしっかりとした感触があるはずです。どのような場合でも、ボルトはロックナットのナイロン挿入部に完全に噛み合っていないければ、安全ではありません。

安全性のチェック：最初の水上走行前後にハイドロフォイルの締め付けをチェックすることをお勧めします。複合設計された Disk-Grip™ は、強引な締め付けに耐えるように設計されています。ロックナットは通常、トリムカバーを取り外すことなく、この時点でさらに 1/4~1/2 回転以上、締め直すことができます。

メンテナンス：ゴムワッシャーの風化や Disk-Grip™ の締め付けを定期的に確認してください。必要な場合のみ、再度テンションをかけてください。交換部品が必要な場合は、販売店または Sport Marine 社にメールでお問い合わせください。

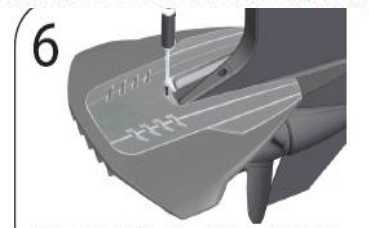
* (注意) 取り付けの調整：8 インチ(203 ミリ)幅のキャビテーションプレートは、穴開け加工無しで取り付けのために SE Sport 400™ の改造が必要です。説明書と写真については、Sport Marine Tech または www.sesport.com にお問い合わせください。

* Mercury 4 ストローク 40、50、および 60 馬力は、リアディスクマウント位置のプレート幅が 6.5 インチ(165 ミリ)です。これらのモーターに適合するように、1/4 インチ(6.4 ミリ)のドリルビットで SE Sport 400™ を穴開けするためのパイロットホールがついています。前方の Disk-Grip™ マウントには、標準の 6 インチ(152 ミリ)の穴位置を使用してください。

* Evinrude 200HP - 300HP の各種モデルは、6.5 インチ(165 ミリ)のパイロットホールを開け、最も適合するように前方外側の穴を広げる必要があるかもしれません。取り付け前に最適なパターンを測定してください。SE Sport 400™ は、キャビテーションプレートを通して排気を行うボルボには推奨できません。SE Sport 300™ をお勧めします。



ロックナットを7/16インチソケットでゆっくり
締め付ける。レンチのトルクを交互で使用します。



カバーを少し前に出し、押しながら後ろに
スライドさせて固定し、ネジを取り付ける。

***従来のドリル組み立て：**ご自身のキャビテーションプレートに穴を開けたい場合は、SE Sport 400™を希望の位置にセットし、センターパンチで内側に4つの穴をマーキングしてください。1/4 インチ(6.4 ミリ)ドリルビットを使って、4つの内側に穴を開けてください。Disk-Grip™とゴムワッシャーは使用せず、同じ金具を使用して取り付けてください。(もしくは任意で2つの穴を開けて2つのDisk-Grip™を使用する事も出来ます。)